



左：竹田 優哉さん、中央：松浦蓮さん、右：柚木 祥歩さん（DXスクール受講生）

総務で結成！DXチーム 課題解決アプリを内製

エクノスワタナベは、水・空気・緑の環境設備企業。その総務部に所属する3名は、社内システムをMicrosoft 365へ統一するタイミングでDXチームを結成。多様な業務のデジタル化を内製で進め、課題解決や効率化を実現しています。

総務メンバー3名で DX推進をスタート

ITが得意だった松浦さん。入社と同時に、社内のデジタル化推進の中心的役割を任せられました。柚木さんはデザイン系の業務経験があり、システムのUI（画面デザイン）担当に。竹田さんは会計事務所での経験があったため、経理分野のDX推進役としてチームに参画しました。それぞれの強みを活かしながら、デジタル化という共通の目標に向かって協働が始まりました。

各自の専門性を活かし 多面的にDXを展開

「とにかく紙の資料が多いことが課題」。この共通認識を起点に、まずはMicrosoft 365を活用し、社内のペーパーレス化から着手。松浦さんは、紙で管理していたタイムカードを電子化。現場でもスマホで打刻ができるようにしました。また、工事管理アプリをノーコードで作成し、紙のファイルで管理していた受注から請求までの流れを完全デジタル化しました。

柚木さんは資格調査のアンケートをフォーム・RPAツールでデジタル化。竹田さんは勤怠通知の一括送信をRPAで構築し、1日15分の業務時間削減を実現しています。自分たちが手掛けたしくみが課題解決につながり、社員が喜んでくれることが励みです。

DX事例

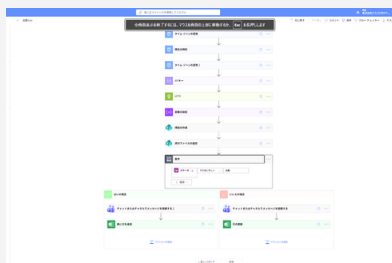
紙による管理

Microsoft 365の活用



勤怠管理・受発注・資格調査
ペーパーレス化

ISO対応から備品管理まで、さらなる展開を計画



今後、竹田さんは燃費調査票の改良に取り組み、給油時に自動で通知が届くシステムの構築を目指しています。柚木さんは資格調査アンケートアプリの開発を進めており、

年次更新業務の効率化を図ります。松浦さんは備品管理システムの導入を計画しており、個人カードで貸出・返却を記録できる仕組みを検討中です。今よりもっと働きやすい職場を目指して、今後も3名が協力しながら、自社のDXを牽引していきます。

ふじえだDXリーダーズ プロフィール

- 【氏名】 松浦蓮（まつうられん）
 【所属・担当】 株式会社エクノスワタナベ / 総務部
 【IT経歴】 大学でプログラミングを学び、DX牽引役として入社。Microsoft 365の導入と活用推進を担当し、各種ノーコードツールを活用して、社内業務のデジタル化を推進している。

Webサイト



活用している
DXツール

・ Microsoft Forms

・ RPAツール
(Microsoft Power Automate)